

## ホットニュース



基調講演する影山准教授



水環境保全の活動を発表する翁島小の児童

### 美しい水環境を未来へ

「猪苗代湖・裏磐梯湖沼水環境保全フォーラム」と「猪苗代湖子ども交流会2019」は11月22日、学びいなかで開かれました。

初めに、第17回猪苗代湖・裏磐梯湖沼フォトコンテスト表彰式が行われ、最優秀賞を受賞した鈴木彦三さん（福島市）ら受賞者に表彰状が贈られました。

引き続き行われた「猪苗代湖子ども交流会2019」には湖南小中学校4年生、湊小学校4年生、翁島小学校5年生の児童が参加し、各校が取り組んでいる水環境保全のための活動や調査結果を発表しました。翁島小は、猪苗代湖の水質調査やクリーン作戦、アサザの移植など3年生から6年生の児童が中心となりさまざまな水質保全の取り組みを行っていることを発表しました。

最後に郡山女子大学家政学部の影山志保准教授が「猪苗代湖の水と私たちの生活」と題し、基調講演しました。

## キラッ人いなわしろ

千里小学校5年生の鈴木奏心さんは現在、町内の和太鼓チーム「会津猪苗代太鼓猪駄天」に所属しています。幼い頃から、他の人とは違うことをしてみたいと考えていた奏心さん。奏心さんが小学校3年生の時に出会ったのが和太鼓です。おなかに響く、力強い和太鼓の音色に圧倒された奏心さんは、母の由美子さんと弟の義弥くんと一緒に和太鼓チームに入会しました。練習は週1回の1時間と短時間ですが、奏心さんは積極的に練習に参加して、その腕前はぐんぐんと上達していききました。

奏心さんのステージデビューは平成29年の磐梯まつり。猪駄天に入会してまだ数ヶ月余りでした

が、小さな体からは想像できないパワフルな演奏と、仲間たちとの息の合ったパフォーマンスで多くの観客を楽しませました。その時のことを「緊張したけれど、楽しんで演奏できました」と奏心さんは振り返ります。

奏心さんの今後の目標は、締太鼓を演奏できるようになること。締太鼓は奏心さんが普段練習している長胴太鼓（宮太鼓）よりも小さく、演奏が難しい太鼓です。「私は今、締太鼓で演奏する曲を練習しています。ソロパートもあって難しいですが、見本の動画を見ながら何度も練習して、格好良く演奏できるようになりたいです」と話しました。



鈴木 奏心さん（西館）

※このコーナーでは、さまざまな分野で活躍している町ゆかりの輝く人を紹介します。掲載希望の人は広報担当まで申し出て下さい。☎(62) 2111

## ホットニュース



親子でイベントを楽しむ佐藤さん（右）と娘の柚菜さん



口笛の音色を披露する柴田さん（中央）

### 猪苗代スイーツフェスタ

第7回猪苗代スイーツフェスタは11月16日、猪苗代スキー場ミネロセンターハウスで開かれ、町内外から訪れた約200人が本町のスイーツを心行くまで楽しみました。

イベントには町内の9店舗が参加。和菓子や洋菓子などさまざまなスイーツが用意され、来場者は各店舗から一つずつ、合計9種類のスイーツを味わいました。

会場内では、デセルカワウチオーナーの河内章さんによるあめ細工の実演が行われたほか、世界的な口笛奏者、柴田晶子さんによる口笛の演奏が披露されました。

また、猪苗代高校の生徒10人がボランティアとして参加し、おもてなしの心で来場者を迎えたほか、青木宗寛社中の皆さんが抹茶の振る舞いを行いました。

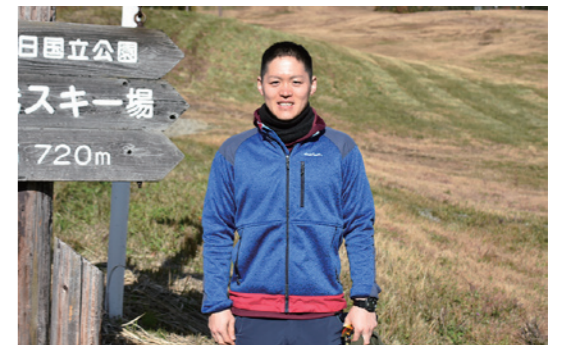
会津若松市から訪れた佐藤裕美さんは「このようなスイーツのイベントに初めて来ました。音楽も楽しめていいですね」と感想を話しました。

## 地域おこし協力隊通信

私たちが地域を元気に！  
地域おこし協力隊

吉井 和磨さん

主な活動内容：観光誘客、インバウンド事業



8月から10月にかけて、観光地域づくりのかじ取り役として期待される法人「日本版DMO」の設立に向けて、外部講師による観光まちづくり講演会やワークショップを3回開催しました。「猪苗代の良いところ」や「10年後の猪苗代に抱く夢」などをテーマに話し合い、有意義な時間になりました。

1月には「冬の猪苗代と中ノ沢温泉」アクティブに猪苗代の冬を満喫」と題したモニターツアーを開催します。

米の全袋検査の見学や町内産のもち米を使ったひし巻き作り体験など、素材を生かしたグルメを堪能できるプログラムを用意しました。食の安全性をPRするとともに「猪苗代の良いところ」を五感で楽しんでもらおうと思っています。

私は今年度をもって協力隊の任期満了を迎えます。これまでお世話になった人への感謝の気持ちを忘れずに、残された時間を大切に過ごします。来年度以降も猪苗代に残りたいと思っていますので、今後ともよろしく願います。